



月ヶ瀬公民館だより

公益財団法人奈良市生涯学習財団
月ヶ瀬公民館
奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
TEL&FAX 0743-92-0346
発行人 館長 藤田美佳

処暑

経済紙に掲載されている企業の決算情報によれば、4～6月に放映されていたドラマの影響で梅酒作りがブームとなり、今年上半期の焼酎の出荷が増加したそうです。昨年来、外出を控えなければならない状況が長引き、自宅での手仕事・手作りがブームとなっていることも拍車をかけているようです。また「三毒を絶つ」と言われている梅干し作りも人気だとのことです。6月に当館で開催した「プチ田舎暮らし・梅干し作り」講座にも定員の倍以上の30人を超える応募がありました。大雨・長雨など不安定な気候や新型コロナウイルス感染症の影響で外出しにくい状況などを考えると、ミネラルが豊富な梅干しとお米、タンパク質の味噌があれば、生き延びられるなど考え、月ヶ瀬に暮らす豊かさを感じています。(梅干しは自作、味噌は月ヶ瀬の糴と大豆です！)

日本経済新聞の8月18日文化欄では、横浜市磯子区杉田の杉田梅のことが取り上げられていました。1600年代に北条氏の家臣・間宮信繁が栽培を奨励し、江戸時代には関東随一の梅の名所として浮世絵の題材となり、初代歌川広重の「富士三十六景」に「武蔵本牧のはな」として描かれたことで知られる梅です。広大な梅林は、明治以降、塩害や老衰で廃れ、戦災や宅地化で姿を消したそうです。料理研究家の市原由貴子さんが、梅の再生に取り組む「杉田・梅塾」を開講して、小田原市の農家の協力で杉田梅を再生したそうです。全国各地にある梅の名所それぞれにそれぞれの物語があり、来年の梅サミットを前に各地の梅について学んでみたいとなりました。



こんな講座がありました！

7/21 プチ田舎暮らし・甘酒で健康に

夏の季語として知られる甘酒。夏バテ防止に月ヶ瀬産の糴を使った甘酒を作りました。講師は、還奈月のみなさんです。応募者は定員の倍以上の22人となり、抽選で10人が参加しました。甘酒作りに加え、おいしく味わうレシピも教えていただきました。



7/24 女性学級 第1回 リラックス整体で夏を乗り切ろう



7月から今年度の女性学級がスタートしました。登録者は15人です。親睦を深めながら、楽しく学んでいきたいと思えます。今年度は、身体と心に効く講座を企画しており、8月は28日(土)にアロマテラピー(芳香療法)でセルフ・ハンドケアをします。

7/31 ピラティス入門 第3回



8月4日 家庭教育サポートネットワーク支援事業 親子で一緒にWARAリズム





図書室だより



スタディ・サポート

毎週日曜日 午前9時～12時

小中高校生の学習サポートを行っています。



8月のおすすめ図書



『光に向かって這っていけー核なき世界を追い求めて』サーロー節子

核兵器廃絶国際キャンペーンのノーベル平和賞授賞式で被爆者としてスピーチをしたサーロー節子さんの自伝。

『ある晴れた夏の朝』小手鞠るい

出自の違うアメリカ人の8人の高校生が、広島と長崎に落とされた原爆の是非について語り合う。

アメリカ在住の著者が若い世代に問いかける「戦争」の歴史と記憶。

『ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ』前野ウルド浩太郎

ファールのような昆虫学者になるため、世界をバッタの害から救うため、アフリカに向かった若きハカセの冒険物語。文部科学省「子どもの読書キャンペーン」推薦書。



移動図書館

第3金曜日 14時40分～15時20分 次回は、9月17日です。

★1か月、1人10冊まで借りられます。

★市立図書館蔵書のリクエストもできます。

★インターネットで予約して、移動図書館で受け取りも可能です。



※はじめて利用する方は、住所・氏名・生年月日を確認できるもの（健康保険証、運転免許証、学生証、在勤証明書など）を持参して下さい。

【8,9月の講座予定】

◆8月25日（水）13時30分～15時

梅の里学級・開講式、

植村牧場・黒瀬礼子さん講演会

◆8月28日（土）10時～11時 女性

学級 アロマでセルフ・ハンドケア

◆8月29日（日）9時～12時 夏休み

スタディ・サポート

◆9月8日（水）13時30分～15時

梅の里学級・回想法体験

◆9月10日（金）10時～11時

親子で一緒に WARA リズム

◆9月11日（土）13時30分～14時

30分 ピラティス入門

◆9月25日（土）10時～12時 茶芽っ子クラブ ドキドキ・ワクワク科学実験

月ヶ瀬俳句会【七月】

サマードレス風に膨らむ昼下り	蜘蛛の巣をそつと払つて線香さす	夏草の刈られ鍵屋の辻標	梅雨明けや愚痴も小言もシュレッター	身中の機械の汗は見えずして	身の丈を超す夏草の強かさ	天を衝く大王松の太き芯	バスの旅雲つきぬひて雲海に	蝉のこゑ何処へ消えし過疎の里	夏祭上がりかまちの鸚哥鳴く	寝返りを打った目覚む熱帯夜	山ふたつ超えてわが里雲の峰	預かりし目高十匹点呼の日	空へ空へソーラーパネル伸びる朱夏	梅を干す日ごと塩ふく三日なり	母に似て親指長し素足の子	汗止めの鉢巻き粋な翁かな
節子	新哉	かつ野	旅人	雍子	ちず子	すま	昭子	残照	繁夫	卓	ますみ	豊美	由姫子	和代	ふみ子	利明

奈良市生涯学習財団 <http://manabunara.jp/>

公民館だよりバックナンバー 施設紹介→月ヶ瀬公民館→公民館だより

